

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35621
事業名	創造都市ネットワーク活用費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集ま					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市はH18年の「創造都市さっぽろ宣言」以降創造都市の取組を推進しており、H25年にはユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)のメディアアーツ分野にアジアで初めて加盟認定を受けた。 H29年度、創造都市の取組は各局の事業で実現するものとされ、創造都市ネットワーク活用事業が政策企画部から文化部に移管された。以降、UCCN事業方針を踏まえ、メディアアーツ活用によるまちの既存資源の付加価値向上事例の創出や他加盟都市との共同事業等の実施等を行っている。 一方で、UCCN都市であることに対する市民認知度が低いことは、加盟当初から続く課題となっている。
	事業内容(何を実施し)	取り組み内容 ①ユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)等の都市間ネットワークを活用した国内外の創造都市との連携・交流 ②UCCN加盟分野であるメディアアーツを活用した若手人材育成事業を中心に、実験的・先駆的イベント等を産学官連携により実施 ＜令和5年度の取り組み＞ ①コロンビア・カリ市主催のUCCNメディアアーツ分野会議、及び山形県鶴岡市主催の「UCCN国内加盟都市会議」に出席し、札幌市の取り組みや連携事業の成果等について発表した。 UCCNメディアアーツ都市との連携事業「未来のメディアアーツ都市」プロジェクトを本市主導により実施し、海外17都市が参加した。 また、ポルトガル・ブラガ市と学生間交流事業「ミニ・サウンド・マップ」を実施した。 ②札幌駅前通地区活性化委員会と街なかを舞台としたメディアアーツ展「パラレルミュージアム」を実施した他、NoMaps実行委員会と実証実験イベント等を実施。また、CG制作ワークショップを実施し、全くの初心者を含む参加者が作ったロボットチームが躍る「未来のYOSAKOIソーラン祭り」の映像を、市内で広く公開した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	・国際的な都市ブランドの価値向上及びシビックプライドの醸成 ・創造性を活用した都市の活性化及び創造的人材の支援、誘致
	他都市の状況	○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟国内都市:【デザイン】神戸市、名古屋市、旭川市【クラフト】金沢市、丹波篠山市 【音楽】浜松市 【食文化】鶴岡市、臼杵市 【映画】山形市 【文学】岡山市 ○CCNJ国際ネットワーク部会加盟都市:全16自治体
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	27,255 千円	うち特定財源	12,430 千円	正規職員業務量	1.8 人工
令和5年度予算額	26,000 千円	うち特定財源	7,694 千円	正規職員業務量	1.8 人工
令和5年度決算額	24,603 千円	うち特定財源	7,193 千円	正規職員業務量	1.8 人工
令和6年度予算額	26,000 千円	うち特定財源	7,456 千円	正規職員業務量	1.14 人工

指標	アウトプット活動指標1	計画期間中に連携・交流した創造都市数(延べ数)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	18都市	18都市	20都市	22都市	24都市
	↓						
	アウトカム成果指標1	創造都市ネットワーク担当所管のHP記事閲覧者数(年間)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		63,396ビュー	65,720ビュー	66,838ビュー	68,040ビュー	70,360ビュー	72,680ビュー
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	他都市との調整により連携事業が予定通り実施できた他、こまめにホームページを更新し記録などを公開することで指標を達成できた。今後も継続的に連携事業を行う予定。					
	アウトプット活動指標2	人材育成事業参加者延べ数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		94人	80人	80人	80人	80人	80人
	↓						
	アウトカム成果指標2	人材育成事業参加者完走率				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		65%	75%	100%	80%	80%	80%
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	講師の他にアシスタントを複数名設置し、すぐに質問ができる環境を設けることで、成果指標を達成することができた。今後も参加者に寄り添った人材育成事業を行っていく。					

今年度の見直し内容	有料ソフトなどの見直しにより予算縮減、予算配分の検討に取り組んだ。
来年度以降の方向性	①本市主導の都市間連携事業について、今年度の成果等を踏まえ内容・手法を検討する。 ②引き続き多くの市民や民間事業者等の参加を促すとともに、産学官による継続的な取組へと繋げていく。